

			全学年	
15 発明創意工夫	なし		全学年	①作品の削については、科学的な思考と独創力に重点を置いたものとし、共同作品でも良い。（全国展の共同作品は3人以内の規定がある。） ②発表の削については、身近な生活に重点をおいたものや、家庭、技術、家庭の視点で研究されたものとし、共同作品でも良い。ただし、科学展の出展と同様の内容を兼ねることはできない。 ・掲示は模造紙2枚までのスベースとし、複数枚になるときは、重ねて掲示することになる。用紙は模造紙または、A4レポート用紙（10枚以内）にまとめる。
16 書写	⑧	左下	全学年 小学校1年生 小学校2年生 小学校3年生 小学校4年生 小学校5年生 小学校6年生	条幅→ひかり 条幅→きずな 条幅→助けあい 条幅→明るい声 条幅→自然の美 条幅→価値の創造 半紙→えみ 半紙→みらい 半紙→まなざし 半紙→成長 半紙→希望の道 半紙→四季の花 ①小学校3年生以上は、学年は「漢数字」・氏名は「漢字」とします。以下の場合は審査対象ではありません。 ○学年・氏名のないもの ○小学校と記入したもの ○学校名を記入したもの ※詳細は、下記参照してください。

※書写は、こちらを参照して下さい。

1. 応募資格
- ・JAの所在区域内の小学校および中学校、特別支援学校の小学部・中学部（以下小・中学校という。）に在籍する児童・生徒とします。
2. 応募方法
- (1) 各学年とも条幅の部1点・半紙の部1点を代表作品として選出し、「応募作品。目録（提出用）」（P.11）を添付し、提出して下さい。
- (2) 1人につき条幅・半紙いずれか1点の応募とします。
- (3) JAを経由して出品することとします。作品は返却しません。

3. 課題

区 分		条 幅 の 部	半 紙 の 部
小学生	第1学年	ひ か り	え ら み
	第2学年	き ず な	
	第3学年	助 け あ い	ま な ざ し
	第4学年	明 る い 声	成 望 の 道
	第5学年	自 然 の 美	希 望 の 花
	第6学年	価 値 の 創 造	四 季 の 満 作
中学生	第1学年	伝 統 の 継 承	豊 年 満 作
	第2学年	柔 軟 な 発 想	地 域 連 携
	第3学年	荘 厳 な 自 然	・ 初 志 貫 徹

4. 作品の基準
- (1) 用紙
- ①条幅の部
- 画仙紙半切（タテ約136cm×ヨコ約35cm）
- ②半紙の部
- 半紙（タテ約33cm×ヨコ約24cm）
- なお、美濃判など、一般的に使用されるものと異なるサイズの紙は使用しないで下さい。
- ※紙のサイズは地域によって多少異なります。
- （上記サイズより長短3 cm程度までは可とします。）
- ※表装・裏打ち・押印等はしないで下さい。
- (2) 書体
- 小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。
- (3) 字体
- 小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。

5. 学年・氏名の記入方法
- 作品への学年・氏名の記入は次のとおりとします（図例1・2）。
- (学年)
- (氏名)
- 年
-
- ※3文字課題の場合のみ、学年・氏名の配置は図例1・2どちらでも可とします。
- (1) 小学校第1学年および第2学年は、学年・氏名とも「漢数字」「ひらがな」いずれでもかまいません。ただし、アラビア数字は使用しないで下さい。
- (2) 小学校第3学年以上は、学年は「漢数字」・氏名は「漢字」とします。
- なお、次の事項に該当する作品は、すべて審査の対象になりません。
- ①学年・氏名のないもの（図例3）
- ②小・中学校の別を記入したもの（図例4）
- ③学校名を記入したもの（図例5）

正しい書き方		誤った書き方		
図例 1	図例 2	図例 3	図例 4	図例 5
一年 共済太郎 名札	二年 共済太郎 名札	名札 学年・氏名のないもの	小学校 三年 共済太郎 名札 小・中学校の別を記入したもの	埼玉小学校 一年 共済太郎 名札 学校名を記入したもの

(注)・上記の記入方法 (2) において、小学校第3学年以上の児童は学年・氏名を漢字で書くこととしていますが、平成14年度からの小学校学習指導要領では、漢字の「書く」指導について、1学年上の学年で書けるようにするという弾力的な指導が示されたことから、氏名の漢字の使用については中学年（第3・4学年）以上の原則は守りつつも、難しい漢字につきましては弾力的な対応をします。

従って、小学校第3学年以上で氏名がひらがなだからという理由のみで選外とすることは避けて下さい。

・半紙3文字の課題の場合の文字配列は図例2に示してあるとおりとし、その場合の名前の位置は図例1・2いずれでも可とします。